

各 団 団 委 員 長 殿
各 隊 隊 長 殿
正副地区コミッショナー 殿

日本ボーイスカウト茨城県連盟
理 事 長 竹 本 俊 一
県連盟コミッショナー 中 島 清 行
(公印省略)

「日日の善行」実践スカウトの表彰にあたっての推薦について

三 指 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、茨城県連盟においては「社会に貢献する青少年の育成」を目指し、健全な青少年の育成を通して心豊かで住みよい地域社会形成の一翼を担う役割を果たすため、スカウト運動の基本である「ちかい」と「おきて」の実践を通し「日日の善行キーホルダー」を活用した「日日の善行」運動を年間を通じて推進しております。

このたび、「日日の善行」の意義をスカウトに再確認することにより更なる推進を図り、地域社会へのスカウト運動の理解と普及を促進するため、自主的かつ積極的に「日日の善行」につとめ、他のスカウトの模範となったスカウトに対して、今年度より県連盟として表彰を行うこととしました。

つきましては、下記により団単位で推薦・申請をお願いいたします。

弥 栄

記

1. スカウトの推薦に当たっての要件

- ①自己の「日日の善行」目標を設定して、年間を通じてそれを自主的かつ積極的に実践している、他の模範となるカブからベンチャーまでのスカウト。
- ②「日日の善行」を実践した感想文を提出すること。
※感想文には、「日日の善行」を実践を通して、うれしかったこと、成長したなと思うこと、続けることのたいへんさ、つらかったこと、いやだったこと、努力したこと、指導者や家族の励ましなど、400字詰原稿用紙3枚以内に自筆で自由に書いてください。
※この感想文は日日の善行運動報告書に掲載させていただきます。
- ③隊長の推薦、およびボーイ隊班長会議もしくはベンチャー隊隊運営会議の推薦があること。

2. 審査・選考および通知

- ①茨城県連盟に所属しているカブからベンチャーのスカウトを対象にしますが、1.①の各自の目標の設定（「毎日元気よく挨拶をする」「毎日良いことを1つする」等部門・年齢に応じた身近な目標）と、その実践に日々努力していること（計画性と実行の積み重ね）を評価します。
- ②県連の「日日の善行推進本部」において審査・選考し表彰者を決定します。
- ③審査は感想文および推薦書（隊長およびBS: 班長会議・VS: 隊運営会議隊《議長》）によります。
- ④各団から直接県連に申請ください。選考結果は4月中に申請団に直接送付いたします。

3. 表彰式の日時・場所

県連年次総会（5/24）、キャンポリー（8/9）等を予定しています。選考結果とともにご連絡します。

4. 推薦申請のメ切り、提出物、提出先

- ・平成21年4月17日（金）までに
- ・申請書（推薦書）と感想文をセットにして、団単位で提出してください。
- ・提出は、〒310-0034 水戸市緑町1-1-18

日本ボーイスカウト茨城県連盟 日日の善行運動推進本部 宛

「日日の善行」実践スカウトの表彰 推薦申請書

日本ボーイスカウト茨城県連盟
「日日の善行」運動推進本部長 殿

平成 年 月 日
申請 団委員長 ㊞

下記のスカウトは、「日日の善行」を年間を通じて実践・努力し、他のスカウトの模範であるとして所属隊長（および班長会議・隊運営会議議長）より表彰の推薦がありましたので、ここに申請いたします。

所属団隊・級	第 団	スカウト隊	進級
ふりがな		登録番号	
スカウト氏名			
所属隊長の推薦 (具体的な実践の内容) <input type="checkbox"/> 設定した目標 <input type="checkbox"/> 実践の期間 <input type="checkbox"/> 実践の内容 (推薦理由)		(所属隊長氏名)	
班長会議（ボーイ隊）または隊運営会議（ベンチャー隊）の推薦 推薦者 (役務) (氏名) (推薦理由)			

※カブスカウトについては、「所属隊長の推薦」のみ必要です。
 この推薦申請書とスカウトが書いた感想文をセットにしてクリップやホッチキスでとめてご提出ください。
 各団委員長は、県連申請時に同じものをもう 1 部作成し、地区コミッショナーにご提出ください。

【Q&A】

Q 1：表彰の対象が、カブ・ボーイ・ベンチャーに限られている理由は？

A 1：これについては、各部門の教育に当たっての「目標課題」に鑑み、「日日の善行」の意味と意義が理解でき、また、自らの目標設定→継続的な実施を自主的かつ積極的に展開できる年代……ということで、ビーバースカウトについては、「日日の善行」は指導者や保護者の指導により行うものとの判断から、対象としませんでした。ビーバースカウトは、指導者や保護者の励ましの下、カブスカウトまで継続して、カブになってから推薦をしていただきたいと思います。

また、ローバースカウトについては、その活動目標の中に「地域の向上に貢献する」と明確に定められており、「日日の善行」は当然実践していることが求められていることから、対象外としました。

いずれにしても、この表彰は、スカウトの中で未だ不十分である「日日の善行」への意識を高め、その取り組みを喚起して、スカウトとしてあるべき姿、持つべきスカウト精神と意識の更なる高揚と獲得を県連盟として後押ししようというものです。ご理解ください。

Q 2：どうして地区を通して推薦申請をしないのですか？

A 2：その大きな理由は、この「日日の善行」は、スカウト個人はもちろんですが、スカウト組織の要である団が、「スカウト運動を通して、より良き社会人の育成」を担う単位として、その実践のためにスカウトの団を設立しているという意義と責任を、改めて確認していただきたいからです。地区から言われたから推薦するのではなく、加盟するそれぞれの団が「うちの団に素晴らしいスカウトがいる。ぜひ県連盟としても、それを認めて誉めて、みんな知らせてほしい……」と、団として積極的にこの運動に取り組んで、そして育ったスカウトを自信をもって推薦していただきたいからです。

決して地区の組織をないがしろにしているわけではありません。地区に対しては地区コミッショナーを通じて把握・報告をお願いする予定です。

Q 3：班長会議や、隊運営会議を実施していないのですが、その場合は推薦できないのでしょうか？

A 3：はい、推薦はできません。

ボーイ、ベンチャーの年代は、指導者主導から、小グループの一員として社会への参画の意識を養い、スカウトとして自発性・自主性を培う大切な移行時期であり、それを促す仕組み（機関）として班長会議、隊会議や隊運営会議を設けています。その「スカウトのスカウトによるスカウトのための機関」の必要性和重要性を考えると、それらの機関を無視することはできません。もし、これらが未整備であるならば、この機会に班長会議、隊会議・隊運営会議を設置するよう団として取り組んでください。

この整備は、隊長の責務ですが、団としてはその責任において十分な支援をしなければなりません。

Q 4：感想文はどのように書けばいいのですか？

A 4：感想文は、その文章の優劣をみるものではありません。いくら小さな「日日の善行」であっても、年間を通じた継続は、スカウトのがんばりと周囲の人の励ましがなくては達成できないと思います。その取り組みに対する自己評価と、本音と、周囲の人の支援に対する感謝の気持ち、今後の展開・抱負等を思ったままに書いてください。「作」文ではなく、あくまでも取り組んだ「感想」文です。

また、スカウトの推薦に当たっての要件に「自己の『日日の善行』目標を設定して、年間を通じてそれを自主的かつ積極的に実践しているスカウト。」とあります。所属隊長は、推薦にあたって①設定した目標、②実践の期間、③実践の内容をスカウトから聞き取り、簡潔に書いてください。また、スカウトの感想文にもそれらについて触れるようご指導ください。

それから「自筆」で、とありますが、ワープロでは感じるできない本人の気持ち？を感じ取りたいということから、こうさせていただきました。よろしく願いいたします。

Q 5：審査と選考とありますが、審査に通らないことはありますか？ また表彰の定員はあるのですか？

A 5：審査は「日日の善行運動推進本部」において行います。本部で設定した基準（各部門の活動目標に準拠。キーワードは「計画性」「継続性」「努力」「愛と感謝の心」「他の模範」「自治の三訣」等です）を満たしているかを、推薦申請書と感想文から評価し選考します。基準に達していないと判断した場合は、残念ながら表彰はできません。もちろん、基準を満たしているスカウトはすべて表彰します。

このように、特に表彰の人数枠を定めているわけではありませんが、推薦基準を満たすスカウトは、多くても、毎年団で1～2名であらうと考えています。結構「狭き門」です。

また、表彰するスカウトが多数の場合は、表彰日時・場所等が変更になることもあります。

